

音楽科授業研究会 開催



令和5年2月24日（金）5校時に、加印地区音楽科授業研究会が志方中学校で開催され、2年生の授業を見ていただきました。単元は、「創作 箏」で、加印地区全域から多くの先生方が参観に来られました。

この単元では、箏の奏法について学び（かき爪・合せ爪・トレモロ・ピッチカート・押放など）、表したいイメージに合わせて奏法を工夫し、旋律の良さを考えながら創作することを目標としています。5つの班に分かれて、演奏し、イメージを考えさせたり、イメージを伝えたりしながら、音色の奥深さについて学びあいました。



5時間目の授業の後に、参観された先生方から感想や意見を聞きましたが、どの先生からも「とてもよかった」という感想でした。



一部を紹介します。

・生徒の仲の良さや温かい雰囲気
が伝わってきてよかった。

・授業が始まる前から、生徒のみんなは学習の準備に余念がなく感心した。

・生徒の発表について、ICTでの発表に慣れていて、またスライドなどもうまく作りこめていた。役割の分担もスムーズで、みんなが活躍でき満足できる授業で素晴らしかった。

・イメージを考える場面においては、それぞれ豊かな発想で答えていたのが印象的であった。

・教師が発問したことについて、生徒は考えをさらに深めることができていると思う。深い学びにつながっていた。

・曲のテンポがゆっくりで日本の楽器らしさがよく出ていた。生徒はいろいろな奏法で大変上手に演奏し素晴らしかった。琴をひく姿勢までよかった。

このように、来られたすべての音楽科の先生方からとてもほめていただきました。志方中の生徒のみんなの素晴らしいところをたくさん見ていただけてよかったですね。みなさんこれからも頑張ってください。